



いわき大交流フェスタ2019が 開催されます！

いわき市民と避難されている方、サポート団体等が一堂に会し、食や伝統文化、スポーツなどを通して交流を深めるイベントを開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。



日時 令和元年10月22日(火) 午前10時～午後3時

会場 21世紀の森公園屋内多目的広場
「いわきグリーンベース」

問 いわき地方振興局 復興支援・地域連携室
☎0246-24-6253
(平日 午前8時30分～午後5時15分)

大熊町仮設商業施設が オープンしました！

避難指示区域の一部が解除された大熊町において、令和元年6月、大川原地区に「ヤマザキショップ」「鈴木商店」「たきもとでんき」がオープンしました。これら3店舗は、避難先から町へ戻った住民の方が不自由なく生活できるように、食料品や日用雑貨、電化製品などの販売を行っています。皆さまのご来店をお待ちしております。



ヤマザキショップ 鈴木商店 たきもとでんき

問 大熊町商工会 大川原連絡事務所
☎0240-23-7380

故郷とあなたをつなぐ情報紙

ふくしまの

が分かる

発行：福島県庁
避難者支援課
☎024-523-4250



新聞

vol.75

令和元年9月18日(水) 発行

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島の復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。



ふくしま Voice

帰還した人、起業した人、
移住してきた人の声をご紹介します。

富岡町の富岡郵便局で、局長として働いています。以前は地元の東京で働く郵便局員でしたが、震災後に妻の出身地であるいわき市を訪れた際、想像を超える被害を目の当たりにして「被災地の力になりたい」と考えるようになりました。このことから福島県での勤務を希望し、2013年に県内へ移住。内郷郵便局や須賀川郵便局での勤務を経て、2017年に富岡郵便局へ着任しました。

福島県での生活に不安や心配はありませんでした。全国には天災などで大きな被害を受けた地域もありますが、地元地域が手を取り合って復興・発展を遂げた地域もたくさんあります。富岡町も福島県も同じように、きっと豊かで暮らしやすい場所になれると信じています。

2018年は、富岡町を元気づけるための「富岡町民劇」にも参加。演劇経験ゼロにも関わらず、2019年1月には緊張の初舞台を経験しました。10月には東京公演も行うため、稽古を続けています。

富岡町は、東京から来た私の「被災地の力になりたい」という想いを温かく受け入れてくれた大切な場所。今後も「生涯の故郷」として、地域の暮らしに寄り添っていきたいと思います。

Vol.9 若林重和さん
(富岡郵便局勤務)



窓口に切手などを
飾り付ける若林さん



ポストや駐車場の
清掃は業務の基本



読者アンケート

アンケートに答えると
抽選で5名様に
プレゼントが当たります！

今回のプレゼント

ふわふわ詰め合せ
12個入

会津産の野菜と果物を使った
ふわふわスイーツ



5名様

※写真はイメージです。

締切 11月8日(金) ※当日消印有効

郵便はがきに必要な事項をご記入の上、お送りください。

960-8670

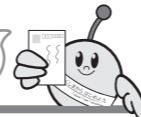
福島県庁
避難者支援課
「今が分かる
新聞」係

- ① アンケートの回答
- ② 記事の感想、今後取り上げてほしい情報、その他ご意見など
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

アンケートの質問

福島のお秋で
楽しみなことは？
行事や食べ物など
ご自由にお書きください。

どしどし
応募してね！



※個人情報商品の発送にのみ使用いたします。

相馬野馬追 (南相馬市)

令和時代初の夏休み。南相馬市では伝統の神事である「相馬野馬追」が行われ、市内の人々が人馬一体の戦国絵巻を目の当たりにしました。開催日程は7月27日(土)からの3日間。このうち28日(日)の本祭りでは甲冑競馬が行われ、騎馬武者たちが力強い足音を響かせながら全力疾走を見せました。また、今回は南相馬市小高区での神旗争奪戦も復活。9年ぶりの実施に、大きな歓声が送られていました。

目次

特集

避難地域における 教育環境の整備について

- 県立高等学校の入試制度が変わります
- 応急仮設住宅の供与期間について
- 読者アンケート&プレゼント



バックナンバーを見れば…ふくしまがもっと分かる！ 福島 今が分かる新聞

検索



避難地域における教育環境の整備について

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故から8年以上が経過しました。一日も早い福島県の復興に向けて、県全体でさまざまな取り組みが着実に進められています。

今号では、震災・原発事故を乗り越えて一歩一歩進んでいる、避難地域における教育環境の再開・推進状況についてご紹介します。



避難地域における「小・中学校の再開と高校等の開設状況」

【小・中学校の再開状況】

原発事故の影響により、避難先での学校運営を余儀なくされた小・中学校のうち、平成29年度までに南相馬市小高区、楡葉町をはじめとする5つの市町村が、平成30年度にはさらに川俣町山木屋地区、葛尾村、飯館村、富岡町、浪江町の5つの町村が地元での学校再開を果たしました。

【高校等の開設状況】

平成27年4月に広野町にふたば未来学園高等学校が開設され、平成29年4月に南相馬市小高区に小高産業技術高等学校が、平成31年4月にはふたば未来学園高等学校の併設中学校が開校しました。



再開時期	避難地域の12市町村名
平成24年4月	① 川内村
平成24年8月	② 広野町
平成26年4月	③ 田村市(都路地区)
平成29年4月	④ 南相馬市 小高区 ⑤ 楡葉町
平成30年4月	⑥ 川俣町 山木屋地区 ⑦ 葛尾村 ⑧ 飯館村 ⑨ 富岡町 ← A 三春町 ⑩ 浪江町 ← B 二本松市 ⑪ 大熊町 → C 会津若松市 ⑫ 双葉町 → D いわき市

● 地元で再開 ● 避難先でも学校を継続
● 避難先で学校を継続 ● 避難先

地元で再開した小・中学校(平成30年4月以降)

所在地	校名	住所	問い合わせ先
川俣町 山木屋地区	川俣町立 山木屋小学校 H31は休校。通学希望者があれば、再開予定	川俣町山木屋小字塚山9-1	川俣町教育委員会 024-566-2111
	川俣町立 山木屋中学校	川俣町山木屋小字塚山9-1	
葛尾村	葛尾村立葛尾小学校	葛尾村大字落合字西ノ内50	葛尾村教育委員会 0240-29-2170
	葛尾村立葛尾中学校		
飯館村	飯館村立草野小学校	飯館村伊丹沢字山田380	飯館村教育委員会 0244-42-1631
	飯館村立飯樋小学校		
	飯館村立白石小学校		
	飯館村立飯館中学校		
富岡町	富岡町立 富岡第一小学校富岡校	富岡町大字小浜字中央237-1	富岡町教育委員会 0240-22-2626
	富岡町立 富岡第二小学校富岡校		
	富岡町立 富岡第一中学校富岡校		
	富岡町立 富岡第二中学校富岡校		

地元で開設した小・中学校(平成30年4月以降)

所在地	校名	住所	問い合わせ先
浪江町	浪江町立 なみえ創成小学校	浪江町大字幾世橋字来福寺西73	浪江町教育委員会 0240-34-2111
	浪江町立 なみえ創成中学校		

地元で開設した中学校・高校

所在地	校名	住所	電話番号
南相馬市	小高産業技術高等学校	南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78	0244-44-3141
広野町	ふたば未来学園中学校・高等学校	広野町中央台1丁目6番地3	0240-23-6825

小・中学校が地元で再開 ～各地域で特色ある教育活動を行っています～

川俣町 笑顔満開プロジェクト2019を実施

山木屋中学校は、今年度学校を再開して2年目となります。特色ある教育活動としては、地域の方々を笑顔にするという目的のもと「笑顔満開プロジェクト2019」を行っています。7月には、地域の方々との交流を積極的に行っています。また、5月には9年ぶりに町内で運動会を実施し、多くの地域住民が参加するなど、人と人がつながる場としての役割も担っています。



地域の方々との交流を積極的に行っています。

富岡町 コミュニティの拠点となる学校へ

学校再開から約1年半が経ち、現在は27名の児童・生徒が学んでいます。少人数をプラスに捉え、三春校とのライブ授業や小・中学校合同行事で同年齢・異年齢の交流を積極的に行っています。また、5月には9年ぶりに町内で運動会を実施し、多くの地域住民が参加するなど、人と人がつながる場としての役割も担っています。



盛り上がりを見せた全員参加の綱引き

葛尾村 葛尾村元気プロジェクトを実施

「葛尾村元気プロジェクト」として、昨年度は学校の壁面にイルミネーションを設置し、村民や道路を通行する村外の方々に、子どもたちが毎日元気に学校生活を送り、夢の実現に向けて頑張っている姿をアピールしました。



イルミネーション点灯式

浪江町 仲間と共に探究する力を育む活動を実施

児童生徒同士や地域の多様な人々と対話しながら探究する学びで、主体性・協働性・創造性を伸ばす活動を実践しています。演劇コミュニケーションW.S(ワークショップ)や地域の「もの」「ひと」「こと」全てを学びの素材とした「ふるさと創造学」で、自主性/社会性/協働性等、自ら考えてコミュニケーションしようとする力を育んでいます。



演劇コミュニケーションW.S

飯館村 ふるさと飯館で田植えを体験

小学生はふるさと教育の一環として、地元農家、村農政課、ボランティアの方々の協力を得て、飯館村の田んぼで田植えを行っています。今年は晴天のもと、協力者の方々に教えていただきながら丁寧に苗の手植えを行いました。今後も、飯館村ならではの地域に根ざした教育をますます充実させていきます。



地元農家の方と協力して田植え体験

問 福島県教育庁 義務教育課 ☎024-521-7796

中学校・高等学校の開設

～福島イノベーション・コースト構想を牽引する高い志を持ったトップリーダーや、ロボット・再生可能エネルギー・農林水産等の各専門分野において即戦力となる人材を育成します～

ふたば未来学園の中高一貫教育について

平成31年4月8日に、本県2校目となる県立の併設型中高一貫教育校として「ふたば未来学園中学校」が開校しました。建学の精神に「変革者たれ」を掲げ、最先端のカリキュラムを導入し、自ら学び課題を解決できる実践力を育みます。身近な地域を学習フィールドにした探究活動、グローバル・スタディ科による実践的英語力育成、哲学対話・熟議を通しての思考力育成など、特色ある教育を実践します。最先端の設備を備えた校舎や運動施設に加え、遠方から入学する生徒のための寄宿舎も設置し、県内外、そして世界に向けて大きな夢や希望をもって羽ばたく人材の育成に努めます。



ECC(エデュケーショナル・コンコース)校門から入ると、街路をイメージした空間が広がります。

問 福島県教育庁 高校教育課 県立高校改革室 ☎024-521-7771

特別支援学校の整備 ～避難地域における特別支援教育の環境の充実に努めます～

相馬支援学校の移転新築について

現在相馬市にある相馬支援学校は、南相馬市鹿島区に移転新築し、令和2年、新たな環境の下、学校が始まる予定です。福島県の特別支援教育の基本理念である「地域と共に学び、共に生きる教育」を推進するため、在籍する児童生徒をはじめ、地域支援センター「しせい」を中心とし、地域の特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から卒業後までにわたる支援を行えるよう、地域になくしてはならない学校づくりを目指します。



イメージ図(実際と異なる場合がございます)

問 福島県教育庁 特別支援教育課 ☎024-521-7780



令和2年度入試(現在の中学3年生)から 県立高等学校の入試制度が変わります

前期選抜 実施日 令和2年3月4日～6日 合格発表 令和2年3月16日

特色選抜

各学校の特色に応じて実施する選抜
受験生の個性や学び意欲を重視し、特色に応じた選抜となるように選抜資料を活用し、能力と適性を総合的に判定します。1つの高校の1学科に出願可能です。

選抜資料 調査書、志願理由書、学力検査、面接、小論文・実技等*

定員枠 募集定員の5%～50%程度

一般選抜

中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜
学力検査の成績、調査書等を選抜資料とし、能力と適性を総合的に判定します。

選抜資料 調査書、学力検査、面接*

定員枠 募集定員から特色選抜、連携型選抜の合格者を除いた人数

同一校で併願可能

共通の
学力検査を
実施

同一校で併願可能

連携型選抜 実施日 令和2年3月4日～6日 合格発表 令和2年3月16日

連携型中高一貫教育を実施する中学校から高等学校へ出願する選抜

連携している内容に応じた選抜となるように選抜資料を活用し、能力と適性を総合的に判定します。

選抜資料 調査書、学力検査、面接、連携型検査*

定員枠 募集定員の30%以上

- 特色選抜と一般選抜の両方に出願する場合、同一校の同じ学科または異なる学科に出願できます。
- 連携型選抜の志願者も、同一校において同じ学科または異なる学科の一般選抜に出願できます。
- 避難している場合、学区内に居住している身元引受人(保護者に代わり志願者を監督、保護する者)からも出願できます。

*が付いた小論文・実技等、面接、連携型検査は、各高校の校長の判断により実施。

後期選抜 実施日 令和2年3月24日 合格発表 令和2年3月25日

調査書、面接及び小論文(または作文)の結果を選抜資料とし、能力と適性を総合的に判定します。

※前期選抜及び連携型選抜により定員を充足していない高等学校で実施します。

問 入学者選抜に関するお問い合わせ先
福島県教育庁 高校教育課 〒960-8688 福島市杉妻町2番16号 ☎024-521-7772 FAX:024-521-7973
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70057a/>

進路アドバイザーによる 県外に避難している高校生の県内企業への就職支援について

福島県出身者で、現在県外に避難している高校生のうち、高校卒業を機に福島県内の企業へ就職を希望する生徒に対して、県内の各高校に配置した進路アドバイザーが、就職を希望する地区の求人情報を提供します。

問 [事業に関する問い合わせ] 福島県教育庁 高校教育課 ☎024-521-7773

就職支援の流れ

求人情報の提供を希望する生徒は、現在通っている高校の進路指導担当(またはクラス担任)の先生を通して、相談窓口にお問い合わせください。その際、「現在通学している学校名」「学校の連絡先」「就職を希望する地区」「希望する業種や職種」「帰還予定時期」などをご連絡ください。各地区担当の進路アドバイザーが、希望に即した企業の求人情報を送付します。

問 [相談窓口] (株)福島人材派遣センター 進路アドバイザー係 ☎024-521-5111



応急仮設住宅の供与期間について

大熊町及び双葉町から避難されている方

令和3年3月末まで、さらに1年間延長します。
なお、令和3年4月以降の供与については今後判断し、取り扱いについては改めてお知らせします。

富岡町及び浪江町の全域、並びに葛尾村及び飯館村の帰還困難区域から避難されている方

平成30年8月にお知らせしたとおり令和2年3月末で終了します。
なお、公共事業の工期等の関係により供与期間内に住居が確保できない特別の事情がある場合、対象者を特定した上で令和3年3月末まで延長します(特定延長)。

※県外の借上げ住宅、雇用促進住宅及びUR住宅についても、上記のとおり対応していただくよう、要請しています。
※福島県では、新たな住まい探しをお手伝いする「避難者住宅確保・移転サポート事業」を実施しており、下記相談ダイヤルでご案内しています。

問 福島県被災者のくらし再建相談ダイヤル
☎0120-303-059 受付時間:午前9時～午後5時 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

不動産取得税の軽減措置 (被災代替不動産、三世同居・近居住宅)について

東日本大震災及び原子力災害により被災した家屋とその敷地、農地の所有者が、それらに代わるものを取得した場合、取得した家屋とその敷地、農地に係る不動産取得税が軽減されます。

また、子育て支援策の一環として、18歳未満の方を含む三世以上の方が同居または近居する住宅を平成29年4月1日から令和2年3月31日までに取得した場合、取得した住宅に係る不動産取得税が2分の1に軽減されます(福島県内の不動産に限りません)。

詳しくは右記までお問い合わせください。

問い合わせ先	電話番号
県北地方振興局	024-521-2694
県中地方振興局	024-935-1254
県南地方振興局	0248-23-1517
会津地方振興局	0242-29-5254
南会津地方振興局	0241-62-5214
相双地方振興局	0244-26-1125
いわき地方振興局	0246-24-6033
福島県庁税務課	024-521-7068



小児健康診査を実施しています

福島県立医科大学では、福島県からの委託を受け、県民健康調査「小児健康診査」を次のとおり実施しています。

対象の方へは受診案内書類を発送しておりますので、お手元の書類内容をご確認ください。

対象者 平成23年時指定の避難区域等(13市町村)に
平成31年4月1日現在、住民票のある平成16年4月2日から
平成31年4月1日までに生まれた方等

受診期間 令和元年7月～12月
(11月、12月は予防接種や感染症等で医療機関は混雑が予想されますので、早めの受診をお願いします)

医療機関 県内小児健康診査医療機関(封筒に医療機関一覧を同封しています)

健診費用 無料

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5130 (平日午前9時～午後5時)
おかけ間違いのないようご注意ください



県内用

県外用

対象の方へは、県内医療機関での受診のご案内(ピンク色の封筒)を令和元年6月下旬に発送しています。なお、県外に避難されている方には、そのほかに、県外医療機関での受診のご案内(クリーム色の封筒)を6月下旬に発送しています。

ふたば医療センター附属病院が実施する出前講座のご案内

ふたば医療センター附属病院において、住民の皆さまの疾病予防や健康増進のための出前講座を開始しました。皆さまの健康に関するさまざまな疑問や不安について、分かりやすくお答えできるよう、専門スタッフが地域にお伺いします。

問 ふたば医療センター附属病院 ☎0240-23-5090